

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成23年04月02日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0874400310		
法人名	タカラケア株式会社		
事業所名	グループホーム ひなたぼっこ	ユニット名	Bユニット
所在地	300-1631 茨城県北相馬郡早尾610-1		
自己評価作成日	平成23年04月02日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

- ・ホーム全体が明るく、笑顔の絶えない生活空間の維持が出来ている。
- ・地域密着型の特徴を活かし気軽に見学や訪問でき地域の行事にも参加し交流も深い。
- ・提携医療機関医との関係作りが密であり柔軟な対応が出来ている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた環境の中で「明るく楽しく穏やかに」の介護理念を管理者・職員一同は常に共有し、生活の継続が出来る様取り組んでいる。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域との強いつながりが出来、敬老会やボランティアやサークル活動などを招いている。又他の事業所や医療関係者との勉強会など地域の交流が深い。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	在宅介護をされているご家族には介護技術を伝え、地域の方々の介護相談も多数応じている。地域の方々の交流の場にもなっている
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回の運営推進会議を開催、地域の方々・民生委員・利用者ご家族・行政担当を招き毎回活発な意見交換の場となっており、地域サービスの向上に活かされています。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村との連絡は密であり、日頃からの係わりの中でホームの実情や問題事例などの相談もさせて頂き深い協力関係が出来ている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員により「身体拘束ゼロ対策防止規定」を作成し2か月に1回又は必要に応じ「身体拘束委員会」を開催し、職員は広義の意味での身体拘束を深く理解し、「身体拘束をしない」ケアの実践に取り組んでいる。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	特にホーム内での研修を充実させ、職員の全員が参加している。虐待に当たる行為を広義で正しく理解し見過ごしの防止を強化している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見制度はホーム内の研修及び外部研修で学ぶ機会を設けている。又地域包括センターなどにも相談などもしている。
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約に関しては事前に契約書をお渡しし、十分に内容を理解して頂き、十分な内容説明をさせて頂き、ご家族様の疑問点や解りづらい内容などは納得されるまで説明を行っています。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に相談窓口及び外部申し立て機関の連絡先が明記されており、又ユニットには意見箱を設置し、皆様がたからの率直なご意見やご要望を伺いホームの運営に反映させている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月定期的に行っているフロア会議やユニットリーダー会議及び都度の個人面談などで運営方針を伝え、職員の意見や提案等を聞き、運営に活かしている。
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人のおかれている状況などを考慮しシフト変更や労働時間に合わせ変更を行い調整をしている。又、職員は各自基本行動評価を行い、目標や向上心が持てるよう努めている。
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内研修・外部研修において、認知症介護・介護職員接遇研修など専門職として自己目標を設定しスキルアップ研修を行っている
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域の他の事業所との連携も深く、合同勉強会を設立し定期的に会合を持っている。又、勉強会の場所を当番制にして近隣事業所に訪問しやすい環境にしサービスの向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談からご利用にい至るまでは管理者が聞き取りをして、困難状況の把握に努めている。ご入居後もご家族様と情報を共有し合い、又本人のとの日常会話の中から求めを聞く努力をしている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族からの要望が行き違いの内容に、相談窓口を一本化し相談は管理者が伺っている。相談に対してはご家族の都合に合わせることを基本に時間をかけて要望を受けている。
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際に、今、必要とされている支援を見極め、それ以外の対応できるサービスの事例等を含め提示している
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その方の「出来ること」を捜し、時には職員と一緒に食事作り・盛り付け・お膳拭き等を手伝って頂いている。昔ながらの知恵を頂きながら共に生活するもの同士の関係が出来ている。
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホームには気軽に来訪出来る雰囲気があり、面会時間の制限は特に設けていないので自由に来訪出来、家族との関係が継続できるよう支援している。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域との交流が継続されており、いつでもご家族や友人来訪出来る環境が整っている。地域行事等にも参加し、地域との交流が途絶えないよう支援している。
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は利用者同士の関係を熟知し、一人一人が孤立しないよう利用者全員が参加できるレクレーション・合唱の練習等で利用者同士の交流が持てる様支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も必要に応じ本人・家族の相談に応じ訪問している。又電話での相談にも随時応じている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員は利用者・家族からの要望・希望の把握に努めている。また困難な場合には日常行動観察等で本人本位になるよう努めている。
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの情報の聞き取りはもちろんの事本人に日常会話を通じて把握するよう努めている。
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの出来る・事出来ない事を把握しその方なりの生活できるよう現状の把握をするよう努めています。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の要望を伺い、本人がより自分らしく暮らすための課題を抽出し職員全員で話し合い、協力医及び主治医と連絡をとるなどして、介護計画を作成している。
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者に必要な個別の記録等、職員の情報交換に基づき統一的なケアの実践している・
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	安心して生活できるよう、本人の要望やご家族の要望を伺い、病院でのムンテラ同席・早期退院の交渉など柔軟なサービスも行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の民生委員や地域サークル・ボランティアの方の来訪が多い。又近隣の方々と協力のもと年2回の避難訓練や夜間想定訓練も行っている。ホーム主催の地域懇親会も開催している。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医による月2回の往診が受けられるよう体制が出来ている。又、直接医師と24時間の緊急対応が出来る支援が出来ている。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	連携医療機関の看護職員との連携も出来ており、いろいろな相談なども気軽にできる。電話での相談にも相談し合える関係づくりが出来ている。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者、家族の希望をふまえ、早期退院に向け医師又は、医療相談員とも相談できる体制が整っている。退院後のケア等相談できる体制もできている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者の将来のあり方に関して、日常生活の中から確認している。又家族の思いも日頃の十分な面談の中から確認が出来ている。ホームでの係わりも十分理解して頂き医療機関との連携の中で支援している
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内研修において緊急時対応・初期対応マニュアルのもと実地指導を行っている。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の消防署員を招き年2回の消防訓練を行っている。又、地域の方々と合同での夜間想定避難訓練を行っている。更に災害対策として約2か月間の水・食糧の備蓄も行っている。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重し、プライバシーを遵守すべく、言葉掛け対応には十分に配慮した支援を行っている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の思い要望など日常生活の中から十分に伺い自己決定をして頂けるよう配慮し安心して暮らせるよう支援している。
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合を優先する事無く、穏やかな一日の中で利用者の個々のペースを大切にし、それぞれの思い要望に沿える支援をしている。
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洗顔・整容には気を配り、着替えなども本人と選び又、月に1回の移動美容室で、本人の望む髪形や髪染め・パーマや資生堂の出張美容のボランティア等の支援も行っている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に台所で調理を楽しまれたり、盛り付け又は後かたづけ等に参加頂いている。季節を感じている頂ける行事食にも力を頂いている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嚥下の問題のある方には馬ゲルゲ-食やソフト食・きざみ食・とろみをつけるなどの支援を行っている。水分摂取量も1日1.500ccを見安に一人一人のケース記録に記入し職員は健康管理の支援を行っている。
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声掛けや誘導にてご自身で歯磨きを行いその後職員が入れ歯等の仕上げを行っている。入れ歯を入れていないか利用者はガーゼ等で口腔内の清潔の支援を行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し誘導・声掛けにより排泄の失敗が少なくなりオムツの使用がなくなった方もいる。
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い野菜や乳製品を多く取り入れバランスのとれた食事の提供に努め1日1.500ccを目安にした水分摂取や適度な運動を取り入れ便秘の予防の取り組んでいる。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一応入浴の曜日は各自決まっているが、希望があれば毎日の入浴も出来る。入浴時間も本人の希望を考慮している。
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の体調や希望に応じて居室や和室で休息できるよう支援している。又就寝時には室温の調整や冬場には湯たんぽ入れるなどして、安眠できるよう支援している。
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は誤薬防止のため、利用者の前で名前の読み上げ本人確認、薬の数など声に出し、飲む込みの確認まで必ず行っている。
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の「出来ること」を職員は把握し、食事の盛り付け、洗濯物たたみ・お膳拭き等職員とともにしている。利用者からも積極的に声掛けを頂いています。
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の健康状態を把握し、散歩や散歩途中のパン屋さんでの買い物が出来る様支援している。車イスの利用者が多いため、あまり遠出はできないが、気候の良い時はお弁当を作ってテラスで食事をしたりと気分転換が出来る様は配慮している。



自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご自分で管理され、理髪代や日々の買い物を財布から賄っている方や、ご家族お預かりしている方などがおられ、近隣のスーパー等で買い物を楽しまれている。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者は自由に手紙のやりとりや、希望に応じて、電話をかけたたりできるよう、取り継の支援を行っている。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングには季節を感じさせ飾りものや花などが飾られ、穏やかな音楽を流して、心地良く過ごせるよう配慮している。トイレはすべて車椅子対応が可能になっている。掘りごたつの和室が生活の場として活用している。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングルームではTVの前にソファを配置し、利用者同士の語らいや読書や新聞を読んだり、和室では横になって休息するなど思い思い過ごせるような場所となっている。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は本人や家族と相談しながら、家具の配置を決め、又使い慣れたものや馴染みの家具、花などを飾り、居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>全館バリアフリーになっており、居室にあh利用者の目線に合わせたネームプレートがついて、居室が分かりやすくなっている。又トイレも表示をつけるなどし、利用者にわかりやすくしている。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない